

「総ぐるみ」新聞

特別手記

私が「総ぐるみ福祉の会」に進んで入会した理由

会員 岡野美樹

一 きっかけは義理と打算

今年の初め頃だったでしょうか、郵便受けに入っていた「総ぐるみ新聞」に、小林一彦さんの「介護保険体験記」が載っていました。これを読んだ妻は「小林さんご夫妻はわが家とそっくり、これならわが家も介護保険が適用される可能性があるんじゃない？」と、この種のチラシに

対しいつもと
は違う関心を
示しました。そ
れというのも
小林さんの奥
様同様、妻はか
なり前からの

腰痛が加齢と共に悪化、それに三年前に起こした脳梗塞の後遺症で一人前の生活が難しいこと、そして私が小林さんほどではないにしても心房細動の治療中だからです。

そうした折、偶然のように現役時代の会社の先輩である増澤さんから、総ぐるみ福祉の会の何とか会議兼懇親会を東戸塚の第一生命の施設でやるから是非出席してみてくれ、との懇請がありました。私は余り気が進まなかったのですが、他ならぬ近くに住む先輩のお誘いであり、かつ、いつもはこのよ

NPO総ぐるみ福祉の会 事務所は日限山4・44・23の宮崎宅です。入会や活動等については、宮崎浩子（8447477）、増澤喜一郎（8479084）、大橋綾子（8232363）、菅沼永子（8449193）、米川満寿子（8419433）、菊地幸子（8414862）に、日限山荘でも受け付けています。

二 私の心をとらえたリーダーの熱意と行動力

その時の会議の内容はともかくとして、懇親会は大いに盛り上がり、同じ地区に住む人々が和気藹々語らっておられるのを目のあたりにして、これまでそのような場と無縁だった私は羨ましく思うとともに、いいものだなと感じ入りました。しかし、このような盛大な会を開けるのも、実は陰にあってリーダーの宮崎さん（後で知ったのですが本会の理事長で名実とも牽引車）、増澤さんが物心両面で多大の負担をしながら頑張っておられればこそであることを松尾さん（これも後で知ったことですが理事兼ヘルパー兼介護保

険事務担当)からその場で聞き、世の中そういうものだろうなと思うと同時に私も何か手助けできるものならしたいと考えるようになりました。

そしてこの懇親会から日ならずして前述の増澤先輩から当会の会計を見てくれないかと要請がありました。お引き受けするにやぶさかではありませんでしたが、NPO法一つ知らない身で簡単にお返事もできず、早速県庁や税務署に足を運んだり、関連の本を読んだり、またこれまでの当会の資料を読ませてもらったり、返事をするに当たっての最低限のことはしました。その過程でNPO法人資格、介護保険事業者認定を受けることの、なまなかではない難しさもよく分かり、宮崎さん、増澤さんはじめ地域の重鎮とも言えるような発起人の方々の本会設立へ向けての熱意と行動力のすごさを私は強く感じ取りました。そして私の本会に対する気持ちも熱い物になってきました。

三 私が進んで入会することの

決め手となった言葉

「遠い親戚」より「近い他人」

総ぐるみ新聞の第一号から読み返す内に総ぐるみ福祉の会がこの言葉を基

盤に活動しようとしていることを知り、私は「これだ」と直感しました。

これ程簡潔に当会の理念を表した言葉はないでしょう。そしてこの理念を実践に移す限り、当会は多くの人々の支持を受け続けるでしょう。

昨年私は群馬県の妹宅で長年病氣療養をしていた母を亡くしましたが、その際「遠い親戚」の身のもどかしさを体験しましたので、この言葉は自省の意味もあつて一層私の胸に響きます。

これから老境を迎えるこの地区の多くの方々にとつても、この言葉は非常に重みのあるものに違いないと思います。

この言葉によって私は会員としての行動指針が与えられたと感じ、進んで入会手続きをとりました。(五月二十八日入会)

この言葉を実のあるものにするには、要するに「地区内に男女を問わず親しく話のできる人をできるだけ多く持つ」、それに尽きると思います。

幸い当会には「日限山荘」という恰好の交流場所があります。地区内(地区外の方だつてOK)の方々が何かにつけて集い、お互いに励まし励まされながら元気で長生きできることを私は心から願っています。

有料老人ホームの選び方のポイント (浮田泰治さんの有料老人ホーム研究レポートから)

- * 費用 入居一時金
1,000万円を切るもの～1億円を超えるもの
毎月の費用(管理費、光熱費、食費のみ)
15万円～20万円
- * 立地 駅や商店街が近いか? 家族の住居と近いか? 自然環境がよいか?
- * 設備 設備が整っているか? 要介護の時、何処で介護を受けられるか? 自分の専用居室か? 介護室か?
- * 医療・緊急時の対応 病院とどんな提携・協力関係にあるか? 入院したときのホームの援助は家族との連携の取り方はどうか?
- * 情報公開 運営をオープンにしているか?
- * 入居者参加・苦情処理 入居者は施設に何でも言えるか? 施設長に会えるか?
- * 集団生活 入居者は集団生活ができる性格か?
- * 経済状態 施設は健全な経営で、職員数が適正か? 利用者は余裕金として最低300万円くらい用意したい
- * ご希望があれば、もう少し詳しい資料を差し上げます。宮崎までお申し越してください。